

コバソウ今月のお知らせVOL.74

～ 2017年住宅リフォーム市場規模は0.5%増の6兆2000億円 ～

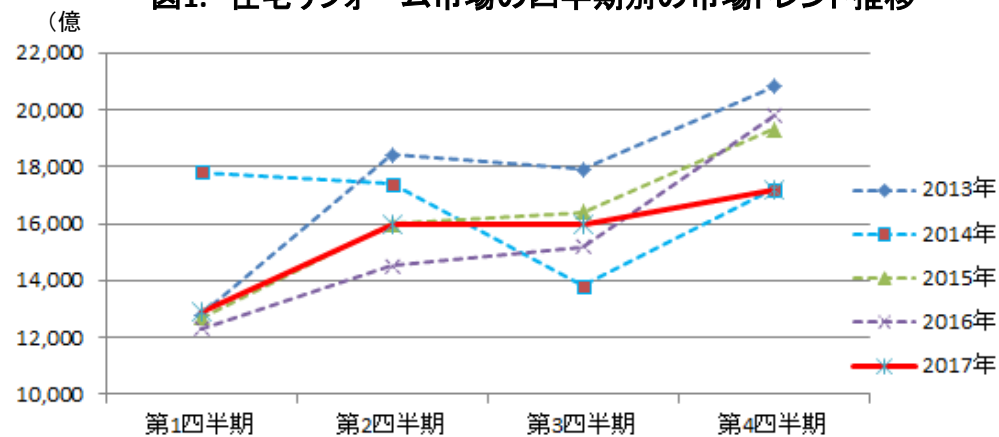
株式会社矢野経済研究所は、2017年第4四半期(10～12月)の住宅リフォーム市場規模について、1兆7300億円(前年同期比12.9%減)と推計数値を発表しました(図1を参照)。また、第4四半期を加えた2017年通期の住宅リフォーム市場規模は6兆2000億円(前年比0.5%増)となりました。

住宅リフォーム市場は、2016年第4四半期から2017年第3四半期まで、4四半期連続の前年同期比プラスで推移。こうした傾向から本格的な回復基調が見込まれていましたが、2017年第4四半期は大幅な減少となり、特に12月が大きくマイナス。これにより2017年通期ではほぼ前年並みの市場規模に落ち着きました。

分野別にみると、前年(2016年～12月計)と比較して「設備修繕・維持」分野は2.5%増となりましたが、「増改築工事(10平米超+10平米以下)」分野が11.7%減となったことが大きく影響。また、「家具・インテリア」は1.2%増でした。

このように、2018年住宅リフォーム市場は、株価の変動などの外部環境を受けやすいものの、緩やかな増加傾向で進むとし、市場規模は6兆2000億円～6兆5000億円を予測されています。

図1. 住宅リフォーム市場の四半期別の市場トレンド推移



注1: 国土交通省「建築着工統計」、総務省「家計調査年報」、総務省「住民基本台帳」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」をもとに矢野経済研究所推計
注2: 2017年第1～4四半期は速報値(2018年2月現在)

【調査概要】

- 1.調査期間: 2017年10月～12月(2017年 第4四半期)
- 2.調査方法: 専門研究員による市場規模算出、及び文献調査

～住宅リフォーム市場とは～
本調査における住宅リフォーム市場とは「10㎡超の増改築工事」・「10㎡以下の増改築工事」・「設備修繕・維持関連」・「家具・インテリア等」の4分野になります。

～ 建基法改正案を決定 / 大規模改修の負担平準化、木造建設促進へ規制緩和 ～

政府は3月6日の閣議で、国土交通省が今国会に提出する建築基準法改正案を決定しました。内容は用途変更による既設大規模建築物の活用を促進するものです。費用がかさむ改修工事を段階的に行い、費用負担が平準化できる仕組みを設けるそうです。大規模木造建築物の建設を促す規制緩和や、密集市街地での延焼火災対策に対するインセンティブ措置も導入。今国会で成立すれば、改正法は公布から1年以内に施行されます。主な改正案の柱は①既存建築物の活用促進 ②大規模木造建築物の建設促進 ③延焼火災に対する密集市街地の安全確保の3点。

①既存建築物の活用促進については、比較的規模が大きい非住宅建築物を念頭に、用途変更で必要になる法令に適合させるための大規模改修工事の費用負担を平準化できる仕組みを導入する。この仕組みは現行法令で増改築工事の特例措置として運用中の「段階改修制度」の準用になる。用途変更による改修工事は原則として一気に行ってから建築確認を受ける必要がある。また高齢者人口の増加に対応し、老人・福祉ホームの確保を促す仕組みも導入する。新築時と共用住宅からの用途変更時を対象に、共用部の廊下や階段を容積率の算定基礎となる床面積から外す。

②木造建築物の建設促進策では、防火規制の適用対象外になる建築物の高さ基準を現在の高さ13メートル・軒高9メートル以上から高さ16メートル・地上4階建て以上まで引き上げる。防火規制の対象になっても耐火構造以外の構造を可能にする。地方自治体が指定する防火・準防火地域に立地している建築物全般の防火規制も合理化。外壁の防火性能を強化して延焼火災を防げるようにすれば、室内での木材利用を可能にする。

③延焼火災に対する密集市街地の安全確保として、防火・準防火地域で延焼防止性能が高い建築物を建てる際、建ぺい率の上限を10%引き上げるインセンティブ措置を導入する。建て替え用地が制約される密集市街地内で建築面積を確保しやすくする狙いがある。

～ 商用ドローンを本格解禁 今夏に山間部で荷物輸送 ～

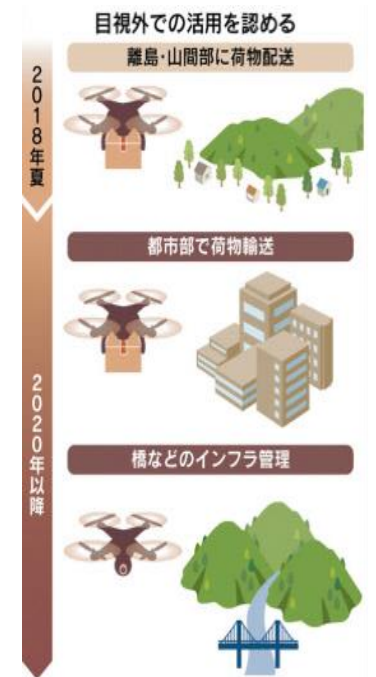
ドローンの商用化へ政府が動き出しました。2018年夏に離島や山間部で荷物を運べるようになるほか、国土交通省は2020年以降の都市部での本格解禁をめざし検討に入ります。現在は人の届かなくなる場所での飛行を原則制限しているが、荷物配送やインフラ管理、測量などの企業のニーズは高く、中国やフランスが基準作りで先行する国際環境で、日本と米国が追い上げる構図になっています。

そもそも、ドローンは2015年に首相官邸に落下する事故が起き、政府が同年中に飛行方法や飛ばせる地域に関する基本ルールを作られました。国の許可をとれば、原則人の目の届く範囲で最長1年間飛ばせるようになっているそうです。

そこで政府は商業利用の加速へと、まず離島と山間部で目視外飛行を解禁し航空法に基づく許可・承認の審査基準を見直します。「使用する企業や個人には飛行場所の限定や、機体の位置・高度・速度での安全性確保を求める」「人の頭上は飛ばせず、航空機や木、人との接触回避も義務付ける」「荷物などを受け渡しする着陸拠点も設置を求める」方針です。さらには荷物が落下する恐れもある為、落下や過積載を防ぐルールも作る予定。日本郵便や楽天はドローンの実証実験や試験運用を手掛けており、富士通なども災害時の活用に向けた検討を進めています。目視外利用ができれば、商機が広がる可能性があります。

商用化を巡る国際競争は活発になっています。目視外飛行の基準づくりが課題の中で中国やフランスが先行しています。三菱総合研究所によると、中国では人の目の届かない範囲での飛行を「機体4キログラム以下」で認めているそうで、中国のドローン最大手のDJIが民間向けで世界の7割のシェアを占めているのが現状です。

米国ではトランプ大統領が昨年10月、ドローンの規制緩和に関する大統領令を公表。目の届かない場所や夜間飛行を原則禁じてきたが、自治体ごとのルール緩和を認めることにしました。米アマゾン・ドット・コムなどが要望したほか、先行する中国に対抗する狙いもあります。国交省の検討会では有識者が「当初、米国は動きが鈍かったが、トランプ政権で商業化が一気に前進する可能性がある」と指摘しており、ますます競争が激化することが予想できます。



～ 都内初 寅さんのふるさと 葛飾柴又の文化的景観が国の重要文化的景観に選定 ～

平成30年2月13日、「葛飾柴又の文化的景観」が、都内初の国の重要文化的景観となりました。

葛飾柴又の文化的景観は、近世初期に開基された帝釈天題経寺と近代以降に発展したその門前を中心に、それらの基盤となった農村の様子を伝える旧家や寺社などの景観がその周囲を包んでいます。さらにその外側に19世紀以降の都市近郊の産業基盤や社会基盤の整備の歴史を伝える景観が広がり、水路の痕跡や道などもよく残っています。

このように、葛飾柴又は地域の人々の生活、歴史、風土などによって形成され、それらを現在に伝える重要な景観地として評価されました。



柴又帝釈天(題教寺)の境内



柴又帝釈天(題教寺)の参道

～ 千葉で2人乗り自転車解禁へ 東京五輪・パラ追い風に ～

全国で唯一、公道での「タンデム自転車(2人乗り)」走行が全面禁止されている千葉県内で、2018年4月から走行可能になることが決まりました。県道交法施行細則の一部改正により、タンデム自転車が走行できるようになります。2020年東京五輪・パラリンピックで、選手合宿地の誘致活動を展開する館山市など県南自治体が、県警に走行解禁を求めているそうです。

タンデム自転車はサドルとペダルが前後に並び、通常の自転車より全長が長い。健常者が前に乗ることで視覚障害者も後部座席で気軽に運転でき、パラリンピックの種目にも採用されています。

館山市は「スポーツ観光の推進にもつながる」と期待。県警は「タンデム自転車の特性を理解して、交通ルールを守って安全運転を」と呼び掛けています。



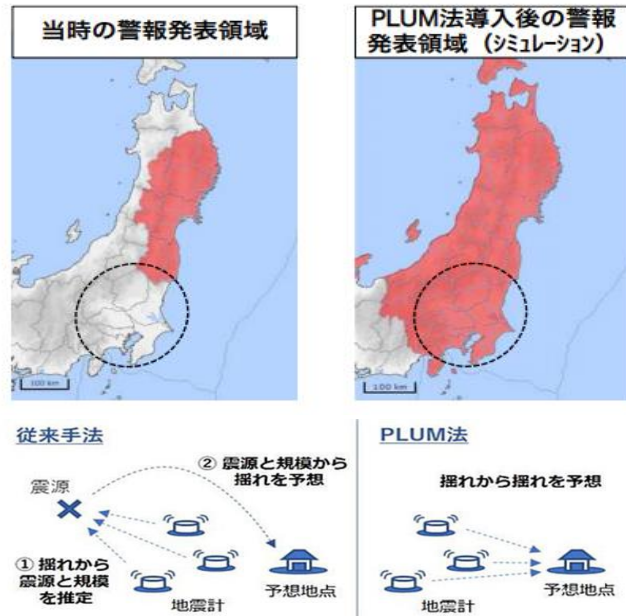
～3月22日から緊急地震速報が変わります～

気象庁の緊急地震速報が3月22日より変わりました。これまで緊急地震速報の発表は、原則一度だけでしたが、7年前の東日本大震災の際、震源から離れた関東などに緊急地震速報を発表できなかったことから、気象庁は、震度予測の技術を改善しました。

今回の新たな手法は「PLUM法」と呼ばれ、巨大地震が発生した場合に、地震計で観測された震度から揺れの広がりを予測し、最初に緊急地震速報を出した地域以外の、より遠くの地域にも緊急地震速報を「続報」として発表できるようになります。また、シミュレーションでは東日本大震災で過小評価された関東地方の強い揺れも予想でき、より広い範囲に緊急地震速報を発表できるとしています。

尚、南海トラフ地震のような、広い範囲で強い揺れが発生する巨大地震にも対応できるそうです。

今後いつどこに来るかわからない天災ですが、起きた際により正確な情報が伝わるようになるのは心強いものですね。



～メーカー直送運賃改定のご案内～

一般サンゲツの路線便(西濃運輸や佐川急便などで現場等に直束手配する便)の運賃改訂のご案内を請求書に同封させて頂きましたが、リリカラ・東りからも、同様に路線便運賃改訂の案内が来ております。昨今問題化している運賃の上昇、特に重量・寸法に応じた運賃基準変更などに起因するものですので、何卒諸事情ご拝察の上、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

時期: サンゲツは5/21、リリカラ・東りは6/1ご発注分から改定。

詳細は弊社までお問い合わせください。

～東り 塩ビ床材及びタイルカーペットなどの取引価格を改定～

東り株式会社は塩ビ系床材およびタイルカーペットを中心とする製品全般について2018年6月1日より価格改定(値上げ)することを報道発表致しました。原油・ナフサの価格高騰を受け、製品主原料である石油化学製品の大幅値上げに起因するものです。どの商品がいくら値上がりするのか、3月末日時点でまだ弊社にも通達がないのですが、現状取引価格より10～15%程度の値上げとなるそうです。

詳細が分かり次第、改めてご案内させていただきます。

～トイレの操作パネルの絵文字統一～

TOTOが発売しているウォシュレットをはじめ、日本の温水洗浄便座が全世界でも注目されていることをご存知の方は多いかもしれませんが、今回住宅設備メーカー9社はトイレの操作パネルの絵信号を統一すると発表しました。訪日外国人が増加している中で温水便座などの使い方がわかりにくいという声が出ていた各社でばらばらだった表示を統一し、初めて使う外国人でも利用しやすくしようという動きです。

便器洗浄の大、小や便座の開閉、お尻洗浄など温水洗浄便座の8種類の操作で絵信号を統一するというもの。

この動きに大いに賛成できると思います。なぜならば海外に行った時にトイレの使い方が分からずストレスに感じた経験が少なからずあると思います。本来リラックスできるはずのトイレという空間がストレスに変わってしまうのは残念です。オリンピックも控えている今、このような改善には「おもてなし」の日本として当たり前の事だと感じました。

ISO7000-3609 便器洗浄(大)	ISO7000-3610 便器洗浄(小)	ISO7000-3611 お尻洗浄
ISO7000-3612 ビデ洗浄	ISO7000-3613 便ふた開閉	ISO7000-3614 便座開閉

～新商品案内～

■田島ルーフィング『デニムフロア』発売!

世界でも有数のデニムサプライヤーである「カイハラ」社とのコラボレーションにより生まれたデニム生地組み合わせた床材4種類(カーペットタイル・コンポジットタイル・ホモジニタイル・ホモジニシート)が新発売されました。

表層はインディゴ染料で染められたデニム生地で、ジーンズをはきこなすように表面の色が徐々に変化していくことを楽しみ、建材の宿命であった「古びる」という概念から床を自由に、新しい価値を創造する、これまでにないビニル床材となっています。

■YAYOI 売れ筋の壁紙にマッチする新色『ミラクルアイボリー』発売!

既存色の[ホワイト][ライトアイボリー]が合いにくい壁紙に最適です。

新色ミラクルアイボリーは、既存色[ホワイト][ライトアイボリー]の中間色で、各社量産クロス(長期継続品)に良く合います。下記一覧にある量産クロスをお使いの際には、新色「ミラクルアイボリー」のご利用もおすすめ致します。

※新色「ミラクルアイボリー」推奨壁紙一覧

サンゲツ	SP2118 SP2105	SP2119 SP2111	SP2123 SP2114	SP2124 SP2126	SP2137 SP2143
リリカラ	LB9012 LB9022	LB9014 LB9025	LB9015 LB9039	LB9018 LB9042	LB9020 LB9045
ルノン	RM918 RM917	RM919 RM935	RM936 RM945	RM943	RM906
トキワ	TWS8506 TWS8543	TWS8508	TWS8515	TWS8518	TWS8523
東り	VS7022 VS7029	VS7023 VS7031	VS7026 VS7033	VS7027	VS7028



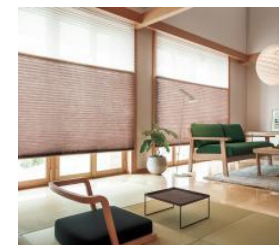
■TOSO 新プリーツスクリーン他新製品を発売

プリーツスクリーンでは、和紙調、シアー、遮光など好みに合わせて選べる新スクリーンが登場。

*和紙調スクリーン...既存柄「色葉」30色に加え透過性を抑えた「葉月」20色、程よく透ける「一葉」6色を追加。

*シアー...既存柄「ハルカ」に4色追加(全11色)、透け感と素材感を兼ね備えた「リセモ」7色、UVや視線を遮る高機能シアー「トリシア」1色など大幅に拡大。

*プリントスクリーン...「七宝」「鱗」「一松」「千鳥」など4柄2配色をラインナップ。ジョイントなしで2900ミリ幅まで製作可能な遮光スクリーンも登場。



和紙調スクリーン「葉月」



和紙調スクリーン「一葉」



プリントスクリーン「千鳥」

～新見本帳案内～

3月29日 リリカラ マテリアルズ 発売

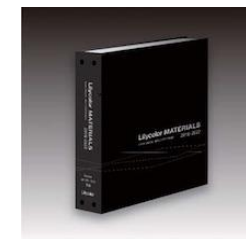
※マテリアルズ発売に伴い、WDは廃刊

5月1日 ヤスダインテリアサプライ 新カタログ発売

5月頃 サンゲツ リザーブ発売予定

リリカラ Vウォール発売予定

リリカラ ベース 発売予定



～コバソウ休日のお知らせ～

白抜きは休業日になります。ご不便等おかけ致しますが、ご理解の程、お願い申し上げます。

4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12
8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19
15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26
22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31		
29	30												